

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<p>・教職員は意欲をもって自ら質向上に努めており、充実した校内研究につながった。また教育センターの研修や研究会への積極的な参加が見られた。</p> <p>・学力向上のため、スキルタイムを行っている。毎週、どのクラスも熱心に実践に取り組んでおり、このことは学習状況調査やCRTなどの成果につながっていると考えている。次年度は、朝の時間を活用して週2回行うこととしており、スキルタイムのより効果的な実践方法を検討する必要がある。</p> <p>・学力向上については、国語科、算数科を中心に「分かる授業」を目指している。算数科に堪能な教職員が提案授業を行い、本校の授業スタイルを定着させる取組を行った。次年度も、転入してきた教職員等を対象に提案授業等を行い、児童にとってより分かりやすい授業ができるようにしたい。</p> <p>・心の教育に関しては、道徳の授業や人権・同和教育の推進と充実に努め、保護者や児童から肯定的な評価を得ている。次年度も、ふれあい道徳（授業公開）や人権集会等を通して、児童の心に訴える実践を行ってきたい。</p> <p>・特別支援教育体制の確立は、引き続き本校の課題である。次年度も、研修を通して教職員の資質向上に努めるとともに、教育相談全体で情報共有を図り、全職員で特別支援教育を推進していきたい。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	<p>ふるさと三田川を愛し、新時代を強く生き抜く児童の育成</p>
----------	-----------------------------------

<p>「かしこく」のために</p> <ol style="list-style-type: none"> 校内研究（英語教育）の充実及びICT利活用の推進 陸山メソッドの考え方を取り入れたスキルタイムの実施 「授業づくりのステップ1・2・3」に沿った授業の展開 家庭学習の習慣化と読書活動の推進 	<p>「心ゆたかに」のために</p> <ol style="list-style-type: none"> 道徳や人権教育を通しての心の教育の推進 縦割り班による清掃活動と働きものそろえの徹底 園工・音楽教育の活性化による情操教育の推進 芝生や花壇等の充実と、校舎内外の環境整備 	<p>「たくましく」のために</p> <ol style="list-style-type: none"> 一人一人の価値を尊重し、居場所のある支持的風土の醸成 体育の授業の充実と、かけ足、自力登校の推進による体力の向上 子ども主体の活動を通しての成就感・達成感・有用感の醸成 保護者、地域と連携した接歩運動の推進
---	---	---

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1) 共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●全職員による共通理解と共通実践 ○自分の考えを相手に伝える力の指導方法の工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上。 ○自分の考えを分かりやすく相手に伝えることに関する肯定的な回答80%以上。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間2回の学力向上対策研修を実施し、本校の課題と取り組む課題について共有する。 ・字数制限、キーワード指定、テーマ設定等の条件を付した作文活動を取り入れる。 			
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> ●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動 ●いじめの早期発見、早期対応体制の充実 ○美しい心の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○週1回の道徳の時間を確保する。 ○家庭や地域との連携を生かした道徳教育を進める。 ○月に1回いじめ問題を把握するアンケートを行う。 ○生徒指導部会および生徒指導全体会を毎月行う。 ○掃除を一生懸命頑張ることができた児童の数を80%以上にする。 ○履き物をそろえることができた児童の数を80%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年間指導計画を基にした授業の実践を行う。 ・6月の授業参観で「ふれあい道徳」として授業を公開する。 ・縦割り活動を通して異学年交流を図る。 ・生徒指導部会および生徒指導全体会で各学年の実態を報告し、複数の目で児童理解に努め、いじめの防止・対応にあたる。 ・毎月、「おしえてね」アンケートを実施し、いじめの実態を早期に把握して対応する。 ・清掃指導を強化し、物を大切にしきれいにする心を培う。 ・履き物そろえ調べを実施し、校内放送を通して意識化・意欲化を図る。 							
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> ①運動習慣の改善や定着化 ②望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成 ④安全に関する資質・能力の育成 ○体力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業以外で運動やスポーツを行う時間が1週間で420分以上の児童を60%以上にする。 ②「健康に食事は大切である」と考える児童を90%以上にする。 ④児童生徒の交通事故を0(ゼロ)にする。 ○かけ足にめあてをもって取り組む児童90%以上にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体育学習の教材開発や資料の充実を図る。 ・早寝、早起き、朝ごはんを推進するために、保護者及び児童への啓発を行う。 ・交通安全教室で正しい自転車の乗り方を指導し、長期休業前に児童へ再度指導する。 ・学期初めに全校児童に「かけ足のめあて」を確認したり、職員で共通理解して取り組んだりする。 							
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減 ○働きやすい職場づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ○分掌間の連携及び情報共有を図り、効率的な業務への取り組みを推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・早い時期での行事計画、進捗により、見直しをもって業務に取り組み、タイムマネジメントができるようにする。 ・定時退勤日を確実に実施する。 ・各自で時間外勤務状況を確認するようし、業務改善の意識高揚を図る。 ・様々な取組を前年度踏襲ではなく、目的、効果、実施方法を互いに問いかけ合い議論する風土を醸成する。 ・優先順位や効率的な仕事の方法を先輩教職員が進んでアドバイスする、若手育成の風土を醸成する。 							

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
				◎地域愛を高める教育	○学校行事および郷土学習の推進	○「自分のよさを知っている児童」「夢や目標に向かって努力することは大切だ」と思う児童をそれぞれ80%にする。 ○三田川のこと、もの、ひとを知り、郷土理解を深める。	・学校行事や授業を通じ、他者との関わりの中で学びながら、自分のよさに気付く児童を育てる。夢や目標に向かって努力する気持ちを育むため、教科横断的な取組を行う。 ・総合的な学習の時間を核に、地域とつながる学習活動を増やす。			
○開かれた学校づくり	○学校開放と地域連携の推進	○学校の方針や取り組み状況に対して保護者の周知度を90%以上にする。 ○学校評議員、民生委員、特別支援ボランティア、読書ボランティア等ボランティアとの連携、有効活用を図る。	・学校便りの発行やHPの更新を行う。 ・月1回特別支援ボランティアとの情報交換会を行い、情報を共有する。							
○教職員の資質向上	○校内研究（英語科・英語活動を中心とした）の推進 ○OJTの推進	○「校内研究を通して授業力が向上した」と回答する職員を80%以上にする。	・校内研究を中心として、相互に授業を参観する。 ・経験年数の浅い若手職員へ先輩教職員が進んでアドバイスする場を設定する。							

5 総合評価・次年度への展望	<p>●・・・果共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育</p>
----------------	-------------------------------------